NIE実践報告

1．タイトル：働くとは?

2．学校名

兵庫県高砂市立荒井中学校

3．実践者名（代表者名）

中野　順一

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　　149人

6．単元（本時の学習課題）名

働き方と生き方(勤労の尊さと意義)

7．目標(狙い)

・仕事に興味や関心を持ち、自分の将来を考える。
・世の中が多くの職業によって支えられていることに気づく。

8．評価の視点

仕事に関する新聞記事を選んだ理由を、明確に表現することができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「働き方と生き方」の学習　　4時間　　マナー講習会　　1時間
働く人に学ぶ会　　1時間　　トライやる・ウィーク　　5日間　　立志の集い　　1時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「無人島に流れ着いたら・・・」というストーリーを読み、働くことの意味を考える。(1時間)
②「もしも就職するならば」（ダイヤモンドランキング）を通して、職業選択についての自分自身の価値観に気づく。(1時間)
③『13歳のハローワーク』を読み、様々な職業について調べる。(1時間)
④「こんな仕事をしてみたい」と思った新聞記事を切り抜き、感想を書く。(1時間)
(留意点)
・働く意味を考えることによって、自分自身も将来、労働を通して社会を支える一員になることに気づかせる。
・①と②については、『OSAKA　人権教育ABC　一人権学習プログラムー』(大阪府教育センター)を参照。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

四川大地震の被災者を治療した看護師の報告会を紹介した新聞記事を選んだ生徒は、改めて達成感のある仕事であると感想を述べていた。

12．成果と課題

働くとはどういうことかを、考えるきっかけになり、生徒自身の生き方や考え方を揺さぶることができた。今後、各教科(社会科、家庭科等)で新聞記事を手がかりとした学習をしていきたい。